



海外駐在員事務所が伝える

グローバルの今

FFGでは、独自のネットワークを活かしてお客さまの海外ビジネスを総合サポートしています。
今回、シンガポール駐在員事務所の花森所長に現地の情報やビジネスについて伺いました。

Question 1

(表1) シンガポールの概要

項目	内容	参考
人口	約604万人(2024年6月時点)	福岡県の人口は約510万人(2024年9月時点)
面積	約735平方キロメートル	対馬の面積は約709平方キロメートル
2023年の一人当たり名目GDP	約84,730 米ドル(約1,260万円)	日本は約33,810 米ドル(約502万円)
食料自給率	約10%	日本の生産額ベースの食料自給率は約61%
在留日本人	31,366名(2023年10月時点)	世界11位
人種構成	中華系74%、マレー系13.5%、インド系9%	公用語は英語、中国語、マレー語、タミール語

※為替レートは、2024年10月11日の1米ドル=148.62円にて算出 出所:JETRO、外務省、IMFなど

(表2) 2024年世界競争力ランキング

順位	国名
1位	シンガポール
2位	スイス
3位	デンマーク
4位	アイルランド
5位	香港
6位	スウェーデン
7位	UAE
8位	台湾
9位	オランダ
10位	ノルウェー
...	...
38位	日本

出所:スイスの国際経営開発研究所(IMD)

現地の状況について
教えてください

2023年の一人当たり名目
A シンガポールは、都市国家で
小国ながら積極的な外資誘致等
により目覚ましい発展を遂げ、

GDPは約84,730米ドルで
日本の約2.5倍となっています
(表1)。

また、企業のビジネスのしやす
さを指標化した、2024年世界
競争力ランキング(スイスのビジネ
ススクール国際経営開発研究所
(IMD)の調査)において1位
(表2)、アジア駐在員が住みやす
い都市ランキング(英国の人材コン
サルティング会社(ECAインター
ナショナル)の調査)において10年
連続で1位に選ばれる等、ビジネ

Question 2

現地企業の声を
聞かせてください
(ARCO MARKETING
Pte Ltd 瀧口ペネジー)

A ヤマエグループホールディング
ス株式会社(以下:ヤマエグループ)
の子会社で、現地で食品卸売業
を営むARCO MARKETING
Pte Ltd(以下:アルマーケティング)
の瀧口さまにお話を伺いま
した(写真1)。

ス環境や住環境において国際的に
高い評価を得ています。
加えて、同国のチャンギ空港は
140以上の都市に直行便が就
航し、ASEAN諸国への移動は
概ね3時間以内という地理的な
優位性から、多くの企業が同国を
ASEANの統括拠点としてお
り、JETROの調査によると、
シンガポールに拠点がある日系企
業へのアンケートに「地域統括機能
を有している」と回答した企業は
4割超となっています。

「現地企業の声」

ヤマエグループは、2022年10月に食品卸売業者である現地企業アルマーケティングの株式を取得し、私は2023年4月に現地に赴任しました。

ヤマエグループがシンガポールへの進出を決めた理由は、同国は日本食や日本産品の関心が高く、ビジネス環境が整っており、他国と比べて食品輸入規制が殆どないため、様々な品目の食品の取扱



(写真1) アルマーケティング瀧口マネージャー（写真左）と同社冷凍倉庫内にて

Question 3

海外ビジネスを目指す お客さまへメッセージをお願いします

A 2023年のシンガポールから日本への観光客数は年間約59万人となり過去最高を更新するなど、日本への関心は高く、現地でも様々な日本産品が受け入れ

が可能です。また、長期的に経済成長が見込まれる東南アジアの商圏での販路拡大に向けて、交通や物流のハブとしての利便性が高いシンガポールに拠点を置くことで、効率的な営業活動と輸出増加が期待できると判断しました。

アルマーケティングは、ヤマエグループの創業の地である九州での仕入れ網を活かした豊富な商品ラインナップを強みとして、シンガポールおよび東南アジア諸国において九州産品を積極的にPRし、同地域での輸出拡大を目指しています。

られています。また、整ったビジネス環境、東南アジアへのハブとしての優位性や、駐在員の生活環境の良さなど、シンガポールでのビジネスには多くの魅力があるといえます。

一方で、シンガポールには世界中からモノが集まるため消費者の目が肥えていることや、既に数多くの日本産品が販売されているため競争環境は厳しいことから、入念な市場調査や他社との差別化が必要であると思います。また、シンガポールは海外駐在員にとつて最も生活費の高い都市の一つと言われるなど、賃金や家賃などのコストが非常に高いことにも留意が必要です。

シンガポール事務所には、食品などの販路開拓にかかるご相談も多く、市場調査やネットワーク先とのビジネスマッチングのサポートを行っています。また、マレーシアやインドネシアにもネットワーク先を有していますので、ご興味がありましたらお取引店にご相談ください。



現地のおすすめや
過ごし方を
ご紹介ください

シンガポールでは2008年からF1初のナイトレースとしてシンガポールGPが開催されています。シンガポール中心部の巨大な観覧車や高層ビル群が建ち並ぶマリナ・エリアに特設されるマリナベイ市街地コースは、数多くの煌びやかな照明によりコース全体が幻想的な光の道となり、火花を散らしながらフォーミュラカーが走り抜けます。GP開催期間中には約26万人の観客が訪れるシンガポール屈指のイベントの一つとなっています(写真2)。



(写真2) マリーナベイ市街地コースでのF1開催(スタート前の様子)